産総研人工知能研究センター　次世代人工知能技術の研究開発の目標（イメージ案）

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	アウトカム 中間目標(2020年~) <成果目標(2030年)>
＜脳型人工知能＞						
FS期間		次世代脳型人工知能研究開発			橋渡し	脳に学ぶ革新的情報処理原理に基づく、人間と親和性の高い人工知能技術を提供
・次世代脳型人工知能の研究開発（ATRと連携）		モジュール化		・脳型人工知能システムの概念実証として、ロボット制御や動画像理解等の実世界課題に適用して評価		
＜データ・知識融合＞						
FS期間		データ・知識融合型人工知能研究開発			橋渡し	データと知識を融合した、自然言語を通じて人間と相互理解できる人工知能技術を提供
・データ・知識融合型人工知能の研究開発		モジュール化		・データ・知識融合型人工知能システムの概念実証として、画像・映像、データベース、時系列データを統合した意味理解システム等を構築		
＜フレームワークとモジュール＞						
FS期間		次世代人工知能フレームワーク研究・先進中核モジュール研究開発			橋渡し	ビッグデータを活用する人工知能を誰でも簡単に利用可能にすることで、人工知能応用の開発効率と生産性を向上させ、社会実装を促進する
・次世代人工知能フレームワーク ・次世代人工知能テストベッド ・観測・データ収集モジュール ・認識・モデル化・予測モジュール ・行動計画・制御モジュール ・自然言語テキスト理解モジュール		適用		・実際の生活空間の中で時間・空間や状況に依存した高度な判断や生活支援をする複数のサービスを構築して有効性を示す 評価・検証		
＜標準タスク・データ・評価基盤＞						
FS期間		次世代人工知能共通基盤技術研究開発			橋渡し	人工知能技術を社会実装するための共通的な基盤技術として、人工知能システムの評価・検証基盤を提供、標準化の推進
・人間行動モデリング ・画像解析（衛星画像等） ・テキストからの知識抽出 ・対人インタラクション ・産業用ロボット ・自動運転 ・バイオデータ解析 ・医療・ヘルスケア・介護データ解析				・人工知能システム評価用の課題設定、ベンチマークデータセットの収集・構築方法を示す 実世界の複数の課題で開発成果の性能や信頼性の評価・検証を実施する 標準化への取組みの実施		
＜企業連携研究＞（橋渡し研究）						
・医療画像診断支援 ・インフラ診断支援 ・消費者行動モデリング ・社会シミュレーション　…　等						企業等と連携しつつ人工知能技術を様々な分野で社会実装